

一般研修カリキュラム

コース番号	コース名				期 間	
8330	精神・発達障害者支援のための SST（応用編）				令和7年10月 9日(木)～10月10日(金)	
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）				定員	日数
					10	2
研修種別	訓練の過程	訓練管理	キャリアステップ	ステップ2	訓練の要素	受講生管理(指導)
研修のねらい 及び 到達目標	<p>社会生活スキルトレーニング（SST）を活用した精神・発達障害者の支援ができることを目指します。 （到達目標） ・社会生活スキルトレーニング（SST）について、学んだ理論を実践に活かすことができるようになる ・社会生活スキルトレーニング（SST）の実践の幅（障害者、家族、職員間）や技能を広げることができる ・アセスメント（見立て）をより深くして相手を理解することを学ぶ</p>					
最低限 必要な知識	「精神・発達障害者支援のための SST（基礎編）」を受講された方で、実務経験が1年以上ある方。 チームを組んで SST を立ち上げようとしている方。					
研 修 内 容	項 目（予 定）				講義	実技・演習
	1 SST 基礎編の振り返り (1) SST の進め方 (2) SST の技法				0.5 H	1 H
	2 アセスメントのツール（課題設定の仕方）を確認する (1) ワークシートを用いて (2) コインマップを用いて (3) 日頃の面接から				1 H	1 H
	3 グループで活用する (1) 基本モデル 1 (2) 問題解決 (3) 基本モデル 2					1 H
	4 ひとり SST を活用して					1 H
	5 宿題				0.5 H	
	6 宿題報告					
	7 課題（宿題）から演習へー困り事の解決に向けてー (1) グループを立ち上げる時の困り事 (2) グループ SST での困り事 (3) ひとり SST での困り事 (4) 家族 SST での困り事				0.5 H	4.5 H
	8 評価の仕方					
	9 質疑応答				0.5 H	0.5 H
				3 H	9 H	
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	SST 研修基礎編を受講後、①実際にグループや個別 SST を実施されている方。②進行する際に課題を抱えている方、課題の出し方に困っている方。③グループや個別 SST を実施しようという方、立ち上げ方の指導を希望される方。④受講者同士の交流も行います。					
研修成果が 活用できる 職務	職務 1		職務 2		職務の内容	
担当教員 (ユニット)	外部講師					
使用する 機器等						
受講者が用意 するテキスト (予定)	これまでの 10 時間研修で使用されたテキストを持参してください。 外部機関で 10 時間研修を受けた方もその時の資料をお持ちください。					